

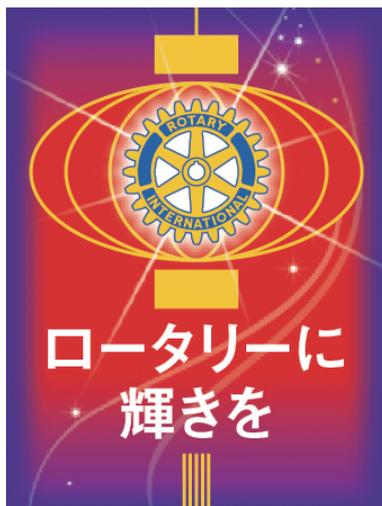


国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 **ゲイリー C.K. ホアン**
2560地区ガバナー **佐々木昌敏**
高田ロータリー会長 **齋藤 尚明**
幹事 **牧野 章一**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第10回例会 ■ 9月12日(金)

No.9

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。今年度第10回例会です。
今週9日は仲秋の名月ということでしたが、とても良いお天気で素晴らしいお月さんが見られました。

テレビのニュースでは仲秋の名月も今は『スーパームーン』と言うそうで若い人もとても関心を持っているように報じていました。言い方ひとつで『カッコいい』と興味を引くのも時代を表しているようであるほどと思った次第です。

因みに9月9日は重陽の節句といっていわれる菊の節句で長寿を祈るものです。

三月三日の桃の節句や五月五日の端午の節句ほどには知られていませんが、共に奈良平安の昔からあるものです。

今でも盃に菊の花びらを浮かべて飲んでいるような風流な人がいるかもしれませんね。

本日の講話は上越教育大学の副学長の林康成先生です。道徳教育についてのお話ということで、私には苦手なお話ですが皆様最後まで御清聴よろしくお願ひ致します。

出席報告

出席率 97.87%

メイクアップ

大谷光夫君 (9/8(月)高田東RC、11(木)糸魚川RC

ガバナー公式訪問、10(水)頸北RCガバナー補佐公式訪問)
牧野章一君 (9/7(日)アクトの日)

セレモニー

入会式



青木克明君
(えちご上越農業協同組合 経営管理
委員会会長)

2013-2014年度会員スポンサーバッチ贈呈 (国際ロータリー会員表彰担当チームより)
齋藤尚明君・大谷光夫君・羽深耕時君

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会
青木克明君——入会に際して
親睦委員会

9月のご夫人お誕生日・ご結婚記念日各お祝い
地区協働ネットワークセンター (副センター長
羽深耕時君)

災害等緊急時物資支援リストについて、広島豪雨災害支援のお願い

幹事報告

配布物：週報8号、ロータリーの友9月号、災害等緊急時支援物資リスト

報告：2014年8月広島豪雨災害支援のお願い

講話

道徳教育の教科化をめぐるって

国立大学法人上越教育大学 副学長 林 泰成 様



道徳教育の教科化が、教育再生実行会議、道徳教育の充実に関する懇談会での議論をへて、いま、中央教育審議会でも議論されています。これまでも、教科化の動きはありましたが、今回は、本格的に実行されそうな雰囲気です。

道徳教育については、さまざまな考え方がありますから、こうした動きに対しては賛成も反対もあることでしょう。戦後、こうした問題については、イデオロギーの対立といった形で、議論が戦わされてきました。しかし、依って立つイデオロギーを絶対視するあまり、内容についてまじめに議論されていたとは私にはとても思えません。ここにきて、ようやく道徳教育についてまじめに議論する機運が高まったと言えるでしょう。

私自身は、道徳教育の充実は必要だと考えています。それが人間関係づくりに密接に関係すると考えるからです。しかし、教科にすれば、道徳教育が充実して、いじめ等がなくなるかという、そのようには思えません。現行の道徳教育では、道徳的価値を教えることが中心になっていますが、その他に、自尊感情を高めるとか、メンタルヘルスを維持するとか、模擬的な体験を行うとか、そうした事柄が同時に必要だと考えるからです。また、多様な価値観を認め合うという基本的スタンスも必要だと考えます。教科化を避けることができないとすれば、このようなことも含めて教科にするという方向で進めていただきたいと考えています。

自己紹介



昨年11月入会の佐藤です。父がこの高田RCのOBで、母が亡くなったとき退会しており、30年位前だと記憶しています。印象は酔って帰って来る集まりなんだと言う思い出です。それからは、どの会にも属さず今に至るのが現状です。ゴルフは腰の持病の為プレイすると二日間は腰痛になるため辞退しております。趣味は未だにバイクに乗り続け、英車とイタリア車でハーレーでは有りません。この様な趣味なので社会的な友も少なく、さりとて最近の取引関係は遠方ばかりでフランクな付き合いで終始し緊密な関係にはなりにくく、やはり親

佐藤 信君

しくなりたいのは地元を軸とした方に出逢う機会の大切さも実感しておりました。そして仕事の商品と共に人も行かないと商いが成立せず 他県でイベントを組み巡回していますので、週末はほぼ仕事を入れております。そのような状態でせつかくのRCのお誘いも断らざるをえませんでした。入会したい気持ちと今更と言う気持ち 様々な活動も中途半端になってしまうのでは、等々 有りましたが やはり何か魅力を感じておりました。素晴らしい皆様との出逢い、時間はかかると思いますが 少しずつ関わり乍らお役に立ててれば幸いです これからも宜しくお願い致します。